

平成29年度

教育経営の充実に関する研究グループ 活動報告

名寄南小学校 田中 淳也

1 研究内容

(1) 学校経営の充実

- ①本市共通のモデル的な学校経営計画の作成に関すること
- ②社会に開かれた教育課程の編成に係る研修に関すること
- ③コミュニティ・スクール，小中一貫教育の取組状況の交流，導入の促進に関すること
- ④各種指定事業に基づく実践交流に関すること
- ⑤先進校視察等ミドルリーダー育成研修の実施に関すること

(2) 学級経営の充実

- ①学級経営プログラム等の作成と到達状況の把握に関すること

2 具体的取組

(1) 当該年度の内容

291211 **立案参考例付**

市内共通モデルの学校経営計画(案)

平成〇〇年度 学校経営計画

Ⅰ 本校の教育目標

ひびき合い 輝く子

～かしこく・やさしく・たくましく～

【期待される子どもの姿(学年別具体目標)】

※学校で定められている場合は記載する

	かしこく(知)	やさしく(徳)	たくましく(体)
低学年	めあてを理解し、自分の考えをもち、元気に発表する。	のびのびと生活するとともに、やさしい心で接し、仲良く助け合う。	楽しく運動し、楽しく食べ、きまりを守って安全に生活する。
中学年	課題を見付け、進んで考え、わかりやすく発表する。	自分のよさに気付くとともに、相手の気持ちを考え、協力し合う。	体力をつけ、健康に過ごし、安全に行動する。
高学年	自ら課題をもち、仲間と考えを構築し工夫しながら発表する。	将来に向かって夢や希望をもつとともに、かかわり合い、よさや違いを認め、高め合う。	たくましい体をつくり、健康増進のために実践し、安全のために的確に判断し行動する。

※参考例

本校の教育目標の「ひびき合い」は共生の心を、「輝く子」は豊かな個性を表し、共にかしこく、やさしく、たくましくひびき合い、輝く子どもの育成を目指して設定しています。

②社会に開かれた教育課程の編成に係る研修

これからの教育課程の理念

教育課程そのものを
社会に開いていくこと

<社会に開かれた教育課程>

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会づくりを目指すという目標を持ち、教育課程を介してその理念を社会と共有していくこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合っていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

(平成28年8月 中教審教育課程部会～次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ～より)

③コミュニティ・スクールの取組状況の交流，導入の促進

東小っ子の笑顔

東小応援団

地域

スマイルコミュニティ

- 子どもの学び支援
- 地域人材発掘
- 地域の声
- 少年団
- 総括本部

安心コミュニティ

- 登下校の安全指導
- 青パト
- ステッカー のほり 110番の家

ふるさとコミュニティ

- 夏まつり ・盆おどり
- もちつき大会
- スノーランタンフェスティバル
- 廃品回収 ・子ども会

東小ラブコミュニティ

- 緑化構想プロジェクト
- ラベンダーまつり
- コミセン文化祭
- フォトコンテスト
- コミセン支援本部

④各種指定事業に基づく実践交流

- 1 目的 「学校力向上に関わる総合実践事業」の実践指定校となっている名寄小学校の地域連携研修への参加
- 2 日時 第1回 平成29年6月20日（火）
第2回 平成29年11月27日（月）
- 3 講師 学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー
上越教育大学教職大学院教授 赤坂 真二氏
- 4 内容
 - ・ チーム学習による授業改善の在り方
 - ・ 学級経営と連動したよりよい授業構築の在り方講演 「学級経営の充実と協同力を高めるチーム学習」
「自治的能力を育むクラス会議の理論と実践」
- 5 成果 管理職のリーダーシップの下、全校が一つのチームとなり、「学び続ける学校」の実現について学ぶ事ができた。



⑤先進校視察等ミドルリーダー育成研修の実施



(2) 学級経営の充実

① 学級経営プログラム等の作成と到達状況の把握

平成〇〇年度 名寄市立〇〇〇〇学校 第1年〇組 学級経営案

1組担任 〇〇〇〇〇〇 男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名

1 取組内

- (1) 各学
- (2) モテ

2 3つの ～「学

- (1) 評価
学年・
→ Act
- (2) 「記
- (3) 学級

学校経
学級経

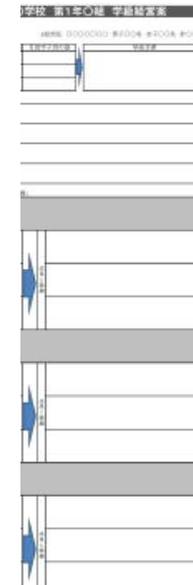
学 校 教育目標			期待される子供の姿	目指す子供の姿	学級目標
	知				
年度の重点 教育目標	知		知	徳	徳
	徳				
	体				

1 学級の状況

学習面	
生活面	
体力面	
その他	

2 「年度の指導の重点」を実現するための「具体的な手立て」とその「成果と課題」

知	指導の重点			
	1 学期	具体的な手立て	成果と課題	
	2 学期			
	3 学期			
指				



3 成果と課

- (1) 各校の
学校経
できた
- (2) 学校経
なるよ

した。
が
案と

なるよつに「大・改善」の必要がある。

3 今後の課題

- (1) 新学習指導要領と移行措置について今後も、研修を深めるとともに、各教科・領域の編成を各校で進め、交流する必要がある。
- (2) 学校経営案と学級経営案に整合性をもち、年間を通して活用される学級経営案となるように工夫・改善する必要がある。

